

# 2年 地域創造類型の歩みⅠ

KOBE TAKATSUKA High School

兵庫県立神戸高塚高等学校

## 西神中央の魅力探し in 西神中央駅周辺

西神のまちを旅しながら「魅力」をテーマに情報を収集して、グループごとにまとめて発表した。駅前の再開発事業によって10月19日に完全リニューアルした西神中央はこれからも「魅力あるまち」の進化を続ける。「グリコピア神戸」の工場見学では企業の工夫や努力の結晶を目の当たりにした。西区をもっと住み続けられるまちにするためにSDGsのゴールを意識して取り組んでいく。



## 研修系ゲーム演習 コンセンサス=合意形成を図れ！

アイスブレイク演習では、初対面の人との空気を和ます手法について学び実践した。NASAゲームでは合意形成を図る難しさやコミュニケーションの大切さを学んだ。貿易ゲームでは国際経済における貿易の不均衡や不平等を学びながら、「公正な取引」について学んだ。企業研修でも用いられる演習は生徒たちの思考やコミュニケーションを大いに活性化させ、積極的に活動に取り組むことができた。



## テーマパーク演習Ⅰ 授業 Ver.

ボードゲーム型探究学習「アップーランド」を再建せよ！

レジャーコンダクター杉崎聡紀氏を招聘して、正解のない問いに対してチームで協働してアプローチした。経営再建に陥った仮想のテーマパークを立て直すべく、各部署が責任をもって決断してシーズンを乗り越えていく。つづき→



## テーマパーク演習Ⅱ 学年レク Ver.

2回目の学年レク200名では体育館を使って特色生が経営者（リーダー）の部署としてチームをまとめ18チームに分かれて利益を競った。1回目より流れを先読みして、やるべきことを決断しながらうまくパークを運営できた。USJでの活動実績を元に作られている教材であり、企業経営の難しさを大いに味わった。



# 2年 地域創造類型の歩みⅡ

KOBE TAKATSUKA High School

兵庫県立神戸高塚高等学校

## HAP「ひょうご冒険教育」



## in 嬉野台生涯教育センター

非日常を体験するために遠足実習を実施した。ローエレメントではグループで協働しながら各ミッションに取り組んだ。午後からはハイエレメントにチャレンジして、高所の恐怖感と戦いながら仲間を信頼してミッションをクリアする達成感を味わった。

この活動でコミュニケーションの大切さと自分の考えを主張する必要性を学んだ。特にミッションを達成するためには一人の力ではなく仲間の力が不可欠で、いかに周りを巻き込んで協働して取り組むかがミッションクリアのカギとなった。普段の学校生活では体験できないコミュニケーションの基礎を学ぶことができた。



## こども文化祭 in 美賀多台小学校<ゲーム>

ふれあい協議会と協力しながら地域のイベントを企画・運営した。企画段階では様々な視点から動きを考え工夫を凝らしたが、本番では臨機応変さが求められた場面も見られて良い機会となった。こどもたちの笑顔や感謝の言葉に刺激を受けて、夏のOHに向けて弾みをつけた。

## 創立40周年記念事業 in 神戸文化ホール

本校創立40周年の記念事業に運営補助として貢献した。来賓の受付や誘導の段取りを一から自分たちで考え先を読む力や人を動かす力を学んだ。本番当日では多くの来賓の方々に褒めていただき、大成功に大いに尽力した。地域創造類型3期生としてさらなる伝統を築いていこう。



## SDGs みらい甲子園にエントリー

高校生が持続可能な地球の未来を考え行動するために、SDGs を探究し、社会課題解決に向けたアイデアを考える機会を創出し、そのアクションアイデアを発表・表彰する大会。本校は「持続可能なまちづくり」をテーマに各チームでアイデアプランを考えプレゼン資料を作成してエントリーを行った。



## もちつき大会 in 美賀多台地域福祉センター

美賀多台ふれあいまちづくり協議会が主催する餅つき大会に有志で参加した。つきたての餅をみんなで協力しながらコネて丸めて、多くの地域の方々に提供した。最後はたくさんのお餅をいただき、おなかいっぱい帰宅についた。小さな子どもとたくさん触れ合うことができた。



## KOBE TAKATSUKA フェス →

## 本校主催イベント in 西神プレンティ広場

3月に西神中央駅プレンティ広場を貸切り、本校が主催の祭りイベントを企画・広報・準備・運営まですべてを高校生が行った。テーマは「高校生が一から作り上げる祭り」として、これまでお世話になった地域への恩返し+地元西神中央の活性化を目的として実施した。3つの部門（ステージ・飲食・ゲーム）を設定して、メインターゲットは「子育て世代」と設定して、子どもが楽しめる内容を候補に挙げていった。ステージでは本校の吹奏楽や合唱部、近隣の他校の部活動が出演した。

祭りを運営する上で、経費や売上を先読みすることは高校生にとって初めての経験であった。子どもたちにはより楽しんでもらいたい！という気持ちから、高校生が運営する模擬店（ゲーム）やステージの参加などは無料とした。生徒会やPTA・学校関係団体から支援を募り、さらに兵庫県教育委員会が推し進めている「魅力あるひょうごの高校づくり」のふるさと活性化事業からも活用した。高校生が予算を知り、その中で購入する物品などを検討することで経済的な学びにもつながった。



# 3 年 地域創造類型の歩みⅣ

KOBE TAKATSUKA High School

兵庫県立神戸高塚高等学校

## 文化祭 大看板モニュメントの作成

6月の文化祭に向けて正門に「TAKATSUKAらしい看板を作りたい!」と始まったプロジェクト。校務員さんのサポートも得ながら素材の購入やデザインの作成・作成までを手掛けた。デザイン性だけでなく安全性も重視して、今どきの一番「映える」撮影スポットも模索しながら作成に挑んだ。2日に渡って開催された文化祭では多くの人の目に触れながら、コロナ禍で最大の盛り上がりを見せた。



## こども文化祭 in 美賀多台小学校<模擬店>

2年で参加した子ども祭りに飲食の模擬店を出店した。夏の暑さを和らげる「かきごおり」や食欲をそそる「フランクフルト」の2店舗を出して祭りを盛り上げた。子どもたちが買いやすいように原価そっちのけの1つ100円という強気な設定で販売し、当日は昨年以上の来場客数もあって、休む暇もなく働き続けた。昼休憩では地域の方々が作った絶品甘口カレーを美味しくいただいた。



## 西区赤い羽根地域ささえあい助成

神戸市西区社会福祉協議会が主催して西区で活躍する団体が赤い羽根募金の助成を受けるための審査会に高校生審査員として参加した。大人の本気のプレゼンに戸惑いながらも、高校生らしい発想や考えで、質問や感想を述べ公正な審査を行った。意見交換会では若者の声に多くの人が耳を傾け、普段交流する機会がない世代が西区の明るい未来のために意見を出し合った。



## ゾットする話 夏の暑さをぶっ飛ばすレクリエーション

アイスブレイクやプレゼンの練習として、各自「ゾットする話」を持参して、真っ暗な教室でろうそく1本を使ってトークショーを実施した。それぞれが話のオチを用意しながら、ウケる時もあるれば、スベる時もあり夏の暑さに負けない盛り上がりを見せた。最後は代表者によるステージ発表が行われ、聴衆の背筋を凍えさせるトークを発揮した。



# 3年 地域創造類型の歩みⅤ

KOBE TAKATSUKA High School

兵庫県立神戸高塚高等学校

## IP フェア 西神インダストリアルパークフェア in 西神工業団地

西神ニュータウンの北部に隣接する西神インダストリアルパークで行われたイベントに参加した。今年はピンクのユニフォームと帽子を祭りカラーとして、各ブースの補助やスタンプラリーの誘導など運営補助として活躍した。消防隊音楽団の生演奏から始まり、各企業の体験ブースが大いに賑わいを見せた。特に神戸市消防局西消防署による「地震体験車ゆれるん」では震度7を体感できた。



## グラウンドゴルフ大会 in 総合運動公園

神戸市スポーツ推進委員協議会が実施する第71回西区グラウンドゴルフ大会に審判兼記録係として参加した。地域の高齢者の方々にとって一大イベントであり、開会式前から、各チームの強い意気込みが感じられ良い緊張感の中、大会がスタートした。事前の校内練習の成果もあって滞りなく運営を補助することができた。最後の閉会式ではくじを引いて景品を渡すなどを行った。



## 体育大会 美賀多保育園和太鼓演奏

コロナ前に実施していた美賀多保育園と連携した5歳児による和太鼓演奏を本校体育大会に招聘した。入場曲「さんぽ」とともに園児の手を引いて入場行進。迫力満点の和太鼓演奏に会場中が喚起に湧き、終了時には特色生自家製のキャンディレイをプレゼントした。事前に保育実習も兼ねて保育園に訪問していたこともあり園児たちは緊張しながらも楽しそうに演奏することができた。



## 校門花壇整備 毎日通る校門を華やかに

1・2・3年の特色生が協力して年2回、校門の花壇を整備した。1・2年次では土の掘り起こしや根の除去など下地作りを担当して、3年次では色とりどりの綺麗な花を植えていった。デザインもすべて生徒一任で、みんなで話し合いながら計画を立てた。毎日通る校門を自分たちの手で華やかにして、一般生や近隣の地域住民の方々が気持ちよく生活できるためのボランティア活動に尽力した。



# 3年 地域創造類型の歩みVI

KOBE TAKATSUKA High School

兵庫県立神戸高塚高等学校

## 大人達が作る子ども達への花火大会 →

大人達が作る子ども達への花火大会として、美賀多台ふれあいまちづくり協議会主催の元で美賀多台小学校のグラウンドで秋の花火大会を実施した。保護者や地域住民・本校生が花火師となり、手持ち花火6000発を秋の夜空に打ち上げた。神戸の花火・玩具卸売問屋クリス氏が監修して事前準備から仕掛け作り・リハーサルまで地域の方々と協力しながら手掛けた。



## 【Fireworks for Kids】 in 美賀多台小学校

本番では秋の夜空に盛大な花火6000発が打ちあがり多くの観客の下で、手持ち花火とは思えぬクオリティの打ち上げが次々と繰り広げられた。フィナーレは花火がまるで壁のように打ちあがり、直上から交差型まで観客を魅了する仕掛けの多さに圧倒された。司会 MC も本校生が担当して、花火師の紹介からクイズ大会、そしてカウントダウンまで立派にマイクパフォーマンスを披露した。



## 卒業発表会 in 西神中央ホール →

地域創造類型の3年間の活動を発表する最大のイベント。400名の観客を前にこれまでの軌跡をムービーで紹介したりプレゼンで発表した。今年は「テレビ番組風」をテーマにしたことによって、一体感が生まれクオリティの高い発表となった。事前指導には神戸松蔭大と連携してブラッシュアップを行い、当日は西区役所地域協働課も招聘して講評をいただいた。



## テーマ【高校生が地域を盛り上げる】

副題「～ありがとう～の輪が広がる西神中央での取り組みを手掛かりに」  
今回の39回生から1年次より一人1台タブレット（iPad）を用いて学校生活を送っており、今発表でも今どきの動画編集や「見せる」プレゼンなどで、情報端末の力を大きく生かした発表を披露した。質疑応答のコーナーでは、生徒・保護者・教員を巻き込んで熱い議論が交わされ、これからの地域について考えた。

